

国際交流講演会実施報告書

2025 年 7 月 24 日提出
経営学部教授 菊地端夫

開催日時：2025 年 7 月 22 日 15:30～17:00

会場：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー1075 教室

講演者：Professor Mauricio Ivan Dussauge Laguna (FACSO Mexico) ラテンアメリカ社会科学研究所メキシコ校教授

講演テーマ：The Politics of Policymaking in the Global South: What could countries from the Global North, like Japan, learn?

言語：英語（通訳無し）

参加者数：14 名（教員、大学院生、学部生、交換留学生）

現在、FLACSO Mexico（ラテンアメリカ社会科学研究所）で教授を務める Dussauge-Laguna 博士は、アメリカのシラキュース大学で行政学の修士号を取得後、イギリスの London School of Economics で公共政策学の博士号を取得した著名な行政学者であり、Global South での政治経済や公共政策に関する著作や論文を多数執筆しています。近年は新興国での Democratic Backsliding（民主主義の後退）が行政に与える影響についての研究を行っており、講演では、いわゆる Global South での政策の特徴と、日本をはじめとした“Global North”への影響についてお話をいただきました。

講演では最初に“Global South”の概念定義の検討からはじまり、政策過程における特徴を、Structural conditions, Public bads, Ghosts from the past, International pressures の四つの視点から具体例を交えて解説をしてもらいました。それぞれの特徴は日本においても多少なりともみられる現象であり、参議院選挙直後の講演会であったこともあり、Global South、メキシコ、日本や他国に共通する現象や、日本への教訓導出（lesson drawing）について、参加者との間で活発な質疑が行われました。

